

# 新井三嶋谷墳丘墓(鳥取県岩美郡岩美町)

にい みしまだに ふんきゅうぼ

正面前方は新井三嶋谷遺跡/鳥取県の東部、岩美郡岩美町の低丘陵の先端部に位置し、弥生時代後期初頭に造られた二基の墳丘墓の他に、縄文時代後期の石器工房跡、土壙墓二基、古墳時代中期の古墳二基と後期の古墳一基で構成される複合遺跡



近づいて見たところ/右手の岩美南小学校の建設用地内で発見されたと言う





岩美南小学校側から見たところ/公園化されており、植栽は頂上に登る通路に沿って設けられている



新井三嶋谷墳丘墓の説明板/1号墳丘墓は弥生時代後期初頭に築かれた方形貼石墳丘墓で、墳丘墓としては国内最大級の規模を誇り、墓上で土器を砕いて祭祀を行った跡が確認されている

新井三嶋谷墳丘墓

岩美南小学校の建設地からは、縄文時代の石器作りのあとや、弥生時代から古墳時代にかけてのお墓などが、たくさん見つかりました。これを、新井三嶋谷遺跡と呼んでいます。

このうち、新井三嶋谷1号墳丘墓は、今から約2000年前（弥生時代後期）に造られたお墓です。この時代のお墓としてはたいへん大型で、この

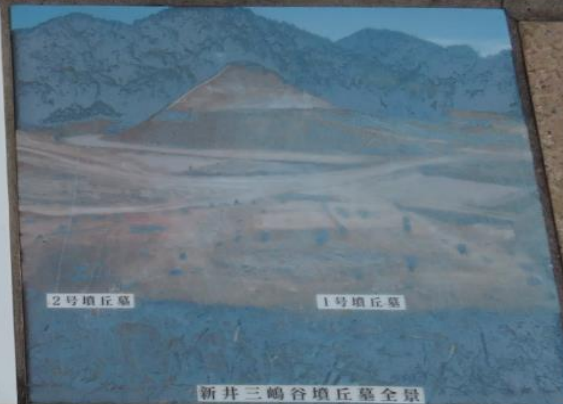
あたりの広い地域を治めた、大きな勢力を持った人物が葬られていると考えられます。

お墓の斜面には石が貼られていました。遠くからでも白く輝いて見えたことでしょう。

ここは、弥生時代の人々にとって、神聖な場所だったに違いありません。

町では、小学校の建設計画を一部変更して、この貴重な新井三嶋谷1号墳丘墓を保存し、2号墳丘墓とともに整備しました。

2001年 岩美町教育委員会



新井三嶋谷墳丘墓全景

岩美町の遺跡年表

年代	時代	岩美町の主な遺跡	日本のできごと
10000年	旧石器時代		火りや保存のくらし 土器が作られる
4000年	縄文時代	新井三嶋谷遺跡(新井) 新井庵寺下環濠(新井)	農作りが始まる
(紀元前 B・C 「弥生期」 A・D)	弥生時代	土塚遺跡(新井)(新井) 新井遺跡(新井) 新井三嶋谷墳丘墓(新井)	銅や鉄が使われ始める ムラやクニができる
300年	古墳時代	新井三嶋谷古墳群(新井)	筑紫直野の女王皇後陵 古墳が造られる
700年	奈良時代	北野麻古墳群(岩美) 小宮古墳群(大宮) 新井庵寺(新井) 法経遺跡(坂内)	大化の改新 奈良に都を置く(平城京)
800年	平安時代	土ノエ遺跡(岩美)	京都に都を移す(平安京)
1200年	鎌倉時代		高麗僧が鎌倉に幕府を開く
1400年	室町時代	三上山願所(岩美)	足利尊氏が京都に幕府を開く
1600年	江戸時代	徳政陣屋跡(浦富) 陣屋跡(浦富)	徳川家康が江戸に幕府を開く
1800年	近代	浦富方墳跡(浦富)	
2001年	現代		明治維新 日本国憲法が公布される 岩美町立岩美南小学校開校



これが1号墳丘墓/説明板がある



墳頂部に3基の埋葬施設が確認されている

1号墳丘墓

1号墳丘墓は、山をけずり  
土を盛って造られています。  
上から見ると、長さ約24m、  
幅約17mの長方形で、高さは  
約3mあります。  
墓の斜面には石が貼られ、  
頂上には、棺をおさめるため  
の穴が3つ掘られていました。



南側斜面

南側貼石



1号墳丘墓の墳頂/ここにも説明板がある





3基のうち、第1埋葬施設には2つの棺が並んで納められていたと云う


1号墳丘墓埋葬施設

3つの墓穴のうちいちばん  
大きい北側の穴には、2つの  
棺が並んで埋められていたよ  
うです。

棺を埋めた上には、お供え  
の土器が置かれていました。  
穴の中は発掘せずに、その  
ま保存してあります。



遺物の出土状況と出土遺物



第1埋葬施設

第2埋葬施設

第3埋葬施設

お墓の想像図



これはレンガブロックによる埋葬施設表示



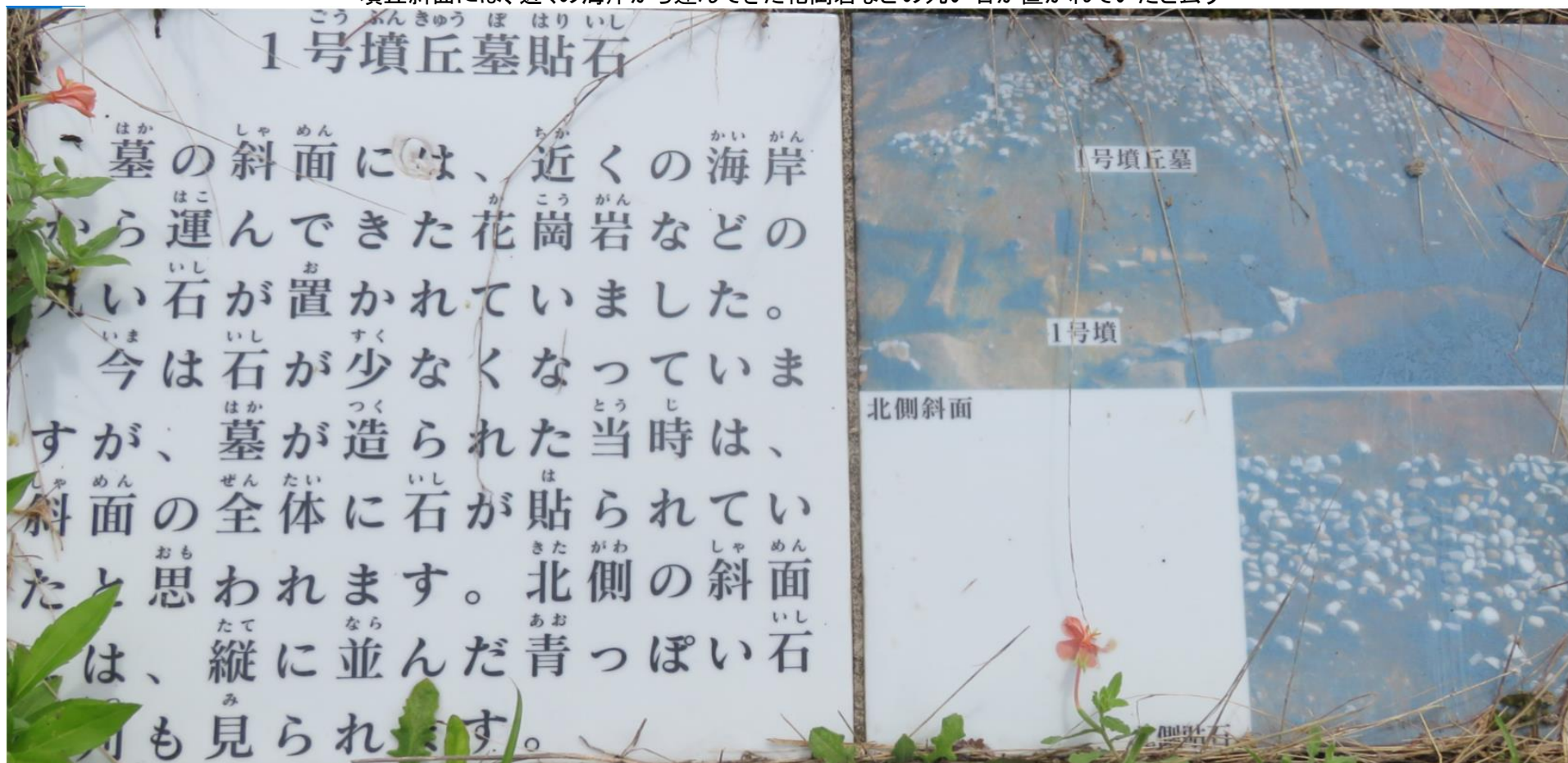


これは1号墳丘墓北側斜面の貼石の名残/説明板がある





墳丘斜面には、近くの海岸から運んできた花崗岩などの丸い石が置かれていたと云う



こちらにも説明板がある





ここが海岸であったと云う

# 貝があけた巣穴の化石

墳丘のすぐ下、岩石の表面には、直径2cmほどの丸い穴がたくさんあいています。海に住む二枚貝が、自分の住みかにするためにあけた穴で、生痕化石と呼ばれるものです。およそ12~13万年前には今より海面が高く、海岸であったことを示す貴重な証拠です。



岩石表面



生痕化石



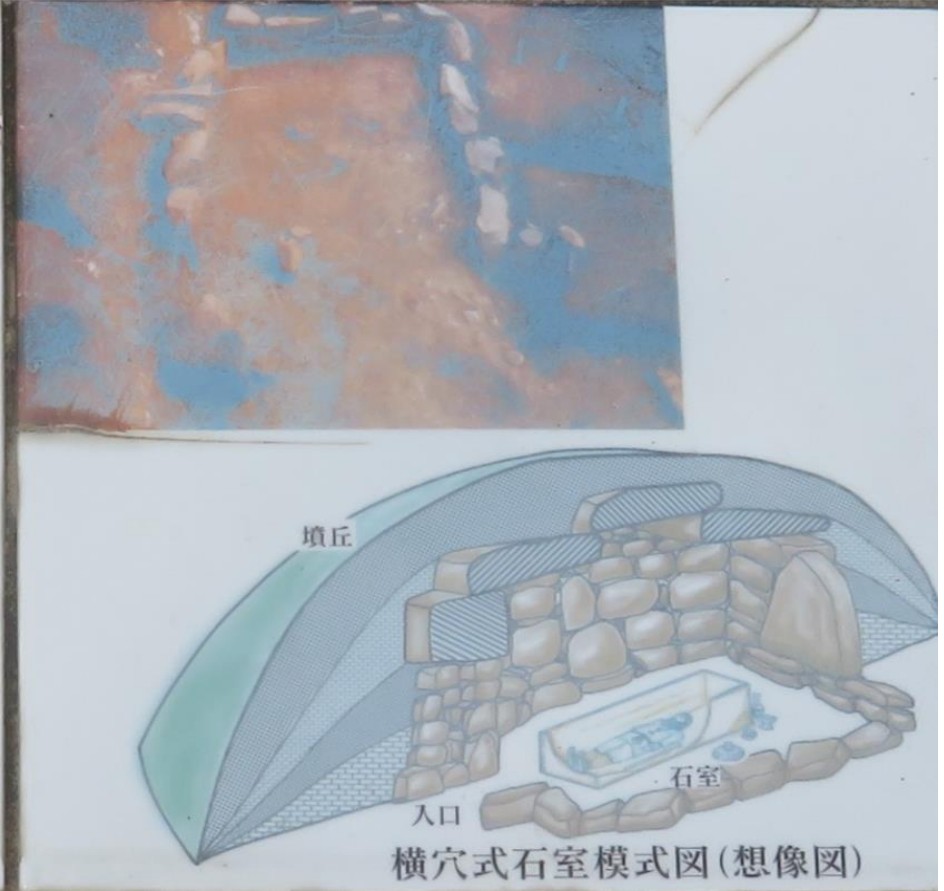
こちらは1号墳丘墓北側にあった1号墳横穴式石室の位置/説明板がある





# 1号墳

1号墳丘墓の時代から約600年後（今から約1400年前）に、ここに古墳が造られました。死者を葬った横穴式石室が発見されましたが、今は埋めてあります。時代によって墓の造り方が異なっていることがわかります。





さて、正面前方は貼石のない2号墓墳丘墓/2基の埋葬施設が確認されている/1号墳丘墓の埋葬施設は調査されていないが、2号墳丘墓の埋葬施設は組合式の木棺が納められていたと云う [\(クリックしてビデオを見る\)](#)





1号墳丘墓に先行して築かれた2号墳丘墓をあわせ、鳥取県東部地域の弥生時代の墓制や社会構造などを探る上で極めて高い学術的価値をもつものとされる

## 2号墳丘墓

2号墳丘墓は、1号墳丘墓とほぼ同じころの墓ですが、のちにその上に古墳が造られたため、もとの形はよくわかりません。

棺を埋めた穴が2つ見つかりました。



これは2号墳丘墓側から見たところ





別の角度から見たところ



参考ホームページ

[http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/bunkazai\\_web\\_view/BE52CC9A87A6473B4925796F000800BC?OpenDocument](http://db.pref.tottori.jp/bunkazainavi.nsf/bunkazai_web_view/BE52CC9A87A6473B4925796F000800BC?OpenDocument)

<http://obito1.web.fc2.com/iwami.html>

